

# 月刊ばうぶ

## 今日の紙面

土佐市「森の恵み体験ツアー」開催  
 れいほく地域人ネット 澤本 志津さん  
 大日本プロレス in れいほく

### 発行所

地域人組合会社  
 ばうぶ合同会社  
 TEL 0887-76-3355  
 FAX 0887-76-3365  
 〒781-3609  
 高知県長岡郡  
 本山町助産1372  
 (百勝川リビング協賛組合内)  
<http://www.baum-llc.com>

# 「CARペンター」発売中

詳しくは上記の電話番号まで

お母さんへのメッセージ  
 月刊ばうぶで何か伝えたい、こぼしたいませんか？

# 土佐市「森の恵み体験ツアー」開催



森林について説明する様子

10月2日(日)、土佐市谷地(やつじ)にて「森の恵み体験ツアー」〜木で作る自分だけのものづくり〜が開催された。

この事業は土佐市役所主催で今年度より始まり、土佐市在住の小学生とその保護者を対象として、森の多様性や木を使うことの大切さを伝えることを目的としている。

自社では

この製材した木は、11月に行われる第2回目の講座の木工作業で使用し、「自分で伐った木で木工品を作る」ことになっている。参加者からは「緑を大切にすることは、私たちの生活そのものを守ることになるの

だと思った。」というよう  
 な感想を多数いただき、  
 森のこと、林業のこと、  
 環境問題のことなどを今  
 後も継続して伝えること  
 が大切だと感じた。



親子での間伐体験



もくレース  
 ~message~

※Sサイズ、Mサイズ、Lサイズ  
 があります。価格につきましてはメール又は電話でのご連絡  
 後、お見積を致します。

## 地域人ネット

れいほく  
 (記事編集 ばうぶ合同会社 澤本)

### 介護支援専門員 澤本 志津さん



昭和52年生まれ東京都三鷹市出身。以前から川が好きで清流の近くで暮らしたいという思いがあり、県内各地を見ていたところ、清流汗見川に魅せられ、平成19年本山町寺家へ移住。現在は本山町社会福祉協議会で介護支援専門員(ケアマネージャー)として勤務する。

### 介護支援専門員として地元を支える

母親として1歳と4歳の子を育てながら介護福祉士・准看護師・介護支援専門員として働いている澤本さん。「嶺北は医療や教育、交通も整っておりとても暮らしやすいですが、一方で深刻な少子高齢化を抱えており、介護利用者が十分満足するサービスを提供できていな

いというのが現状です。」と語る。

澤本さんは自分の専門性を活かし「地域への恩返し」を考えており、そのためには一人でも多くの人の力が必要で、指圧鍼灸院を開業する夫にもヘルパー2級と介護支援専門員の資格を取ってもらったと言う。

今後の活動として澤本

さんは「遠距離介護支援にも力を入れ、利用者の身近な困難を地域の皆様と協力しながらサポートをしていきたいです。」とこれからの地域の介護福祉社に向き合っていく決意である。



お子さんと川で遊ぶ様子

大切な人に  
 大切な気持ちと  
 言葉を贈る。

# 日本プロレス「いぼん大会」



プロレスのメインマッチ

9月17日、旧本山中学校にて「大山日本プロレス in いぼん大会」が開催された。

このイベントは昨年本山小学校で開催され、非常に盛況だったことと、昨年の来場者からの要望も多数あり、今年も開催された。

本山町の「嶺北を盛り上げ隊実行委員会」主催で、よさこい「さくら」と自社が共催で参加しており、合わせて「秋のビアガーデン」も同時開催された。

雨が激しくなるにつれ来場者の減少が心配されたが、開場するとともに多くの来場者が詰めかけ、席はほぼ満員となる盛況ぶり。試合が始まると、会場からは歓声が上がりが大いに盛り上がった。

雨がさらに激しさを増したため、当初は本山小学校グラウンドを会場としていたが、急遽変更し、本山町婦全の森体育館で行うことになった。

イベント終了後、選手に握手を求めたり、写真撮影をする方も多く、昨年以上に充実したイベントとなった。



「秋のビアガーデン」の様子

## ミリカフェステイバル開催

10月17日、高知新阪急ホテルにて「第4回 ミリカフェステイバル」が開催された。このイベントは女性を対象としたもので、化粧品や手作りパン、ランチ&スイーツの試食会



イベントの様子

などがあり、高知新聞企業社主催により行われている。これには農業公社、さめうらフーズ、地域おこし協力隊の方々が本山町ブースにて、その中のひとつとして自社も参加した。自社では新商品のハート型もくレースのコースターを販売

した。本山町のブースの中でも特にさめうらフーズのゆず商品は人気があり、ブースの周りには人が集まっていた。

今回のイベントに出店した社員は「本山町のPRにもなり、本山町が一体となり産品を販売することで本山町をまるごとPRできた



出店の様子

事が良かった。」と話す。

## 事業方針

地域の中にあるまだ十分活用されていない資源を活用することで、地域の中に雇用と所得を生み出し、持続可能な地域再生の実現を目指します。

また、地域に残る豊かな自然環境を活用し、地域内外の人たちに安らぎを提供したいと思えます。

### 行動の原点

### 変化に期待

するのではなく

己の力で未来を

拓く

「ば」  
万物に感謝し、自  
人との調和によって  
恵みが生まれる

「う」  
美しい山間の町から  
みんなの笑顔が  
こぼれるように

「む」  
無限の可能性に  
挑戦する

